

四日市版コミュニティスクール報告書（令和4年度総括）

四日市市立笹川中学校

校長 川森 薫

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

- ① 開かれた学校づくりをめざし、地域・保護者とともに協働できる学校にするために協議会を設置し、様々な視点からの意見や考えを交流し合いながら、地域コミュニティーづくりを推進します。
- ② 教育活動を学校評価に基点を置いたものとし、そのために、これまでの学校関係者評価をより充実させ、改善に努め、保護者や地域の方々の思いや願いを反映した学校づくりを推進します。
- ③ 学習支援をはじめとして、様々な教育活動に保護者や地域の方々との活動を継続・発展させ「地域とともにつくる学校」の推進を図ります。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

(1) 教育活動の実践事例

① 自治会協力による除草作業

P T A除草作業と連携し、西日野町・東日野町の各自治会の皆様に、体育祭に向けて、事前の除草作業をしていただきました。当日は大変暑い中での作業でしたが、地域の方々、P T Aの方々、生徒たちが力を合わせた結果、校内が見違えるように美しくなりました。



② 授業参観

普段の授業の様子を参観いただき、生徒の様子や授業の進め方について様々なご意見をいただきました。また、効果的な施設や時間の使い方等、多くのご助言をいただき、改善に繋がっていくことができました。



③ ゲストティーチャーによる講演

3年生の多文化共生学習と2年生の郷土学習の取り組みの中で、それぞれ地域の方を講師に招いてお話を伺う機会を持ちました。実際の経験をもとにしたお話に、子どもたちは興味深そうに聞き入っていました。



④ 読み聞かせボランティア

毎年行っている地域ボランティアによる絵本の読み聞かせは、子どもたちにも好評です。本年度も4日にわたり行っていただきました。今回もICTを使ったリモートによる読み聞かせとなりましたが、感情豊かに語っていただき、子どもたちは物語の世界に引き込まれていました。



⑤ 自治会との連携による地域清掃活動

毎年、3年生が卒業間際に地域への感謝を込めて行っている地域清掃では、校区内の各自治会にご協力をいただき、2年ぶりに地域の方と一緒に清掃活動を実施することができました。してきました。子どもたちにとっては、あらためて自分たちの暮らす地域を見つめ直す良い機会となりました。



(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

コロナ禍の影響で地域と関わりのある行事・活動がなかなか行えない中、昨年度以上に地域と子どもたちの繋がりが深まる機会を増やすことができました。多くは、コミュニティスクール委員の皆様を中心とした働きかけのおかげであると感謝しております。また、これまで以上に地域の方に来校いただく機会も増え、学校もこれまで以上に情報発信を意識するようになりました。1学期と2学期にそれぞれ行った学校公開日には昨年度以上の来校者があり、本校に対する関心と期待の高まりを実感することができました。今後も地域のご期待に添えるよう、さらなる改善をしていきたいと思っております。

3 今後に向けて

今年度も昨年度の課題を踏まえながら、学校や教師、生徒が地域のために貢献できるような活動を進めていくことができました。ただし、依然として続くコロナ禍への対応、ICTを活用した教育活動や働き方改革等、世の中の流れに合わせて、学校が急速な勢いで変わらなければならない時代に入っています。そこで、今後はますます、コミュニティスクール委員の皆様からの貴重なご意見をいただき、それらをもとに、新たな一步を踏み出していけるよう、努力していきたいと考えています。さらに、が国と地域が連携を進め、笹川中学校コミュニティスクールならではの協働性や連携を誇れるものにしていけるよう、しっかりとこの協議会を運営していきたいと考えています。